

子どものために

子どもの福祉と健康



こんな質問をしました

児童虐待ゼロに向け積極的な取り組みを。

次の世代を担う大切な子どもの命が、父親、母親など保護者の暴力によって失われるという悲惨な事態は何としても防がねばならず、児童虐待ゼロをめざしての条例づくりが急務と考えます。

また虐待は夜間や休日に発生することが多いことから、児童虐待電話相談「なごやっ子SOS」の24時間体制の導入や、さらに乳幼児虐待の解決に向けて、保健師などが家庭を訪問するような支援を行うことが必要と考えます。

(平成11年6月30日、平成16年11月25日・名古屋市会本会議にて)



その後このような施策につながりました

- 子ども虐待電話相談事業の24時間体制化
- 助産師などによる生後4か月までの全戸訪問事業の実施
- 児童虐待防止班の設置など児童虐待防止体制の整備拡充
 - 地域における虐待防止ネットワークの構築
- 事件検証・再発防止のための検討会の開催
- 「なごや子ども条例」の制定